

令和7年度 第1回高梁市地域包括支援センター運営協議会報告

日 時 令和7年6月27日（金）

13時30分～

場 所 高梁市役所3階大会議室1

○出席者 難波委員、角銅委員、平井委員、井上委員、水谷委員、三上委員、
山下委員、仲田委員、大隅委員（計9名）

○欠席者 森田委員、斎藤福祉課長

○事務局 森健康福祉部長、内岡健康福祉部次長兼健康づくり課長、
秋森高齢者支援課長兼地域包括支援センター所長、坂本主幹、
赤木所長代理、江藤参事、倉橋主幹、助實主査

1. 開 会（進行：秋森所長）

2. 委 嘱 状 交 付

4月の定期人事に伴い、高梁市地域包括支援センター運営協議会要項第6条第5号関係行政機関の職員にあたります岡山県備中県民局健康福祉部健康福祉課 原様の後任としまして、岡山県備中県民局健康福祉部健康福祉課課長大隅様にお願いしたいと思います。なお、任期は前任者の残任期間となりますので、令和8年3月31日まででございます。どうぞよろしくお願いいたします。

ただいま紹介にあずかりました備中県民局健康福祉課の課長で赴任してまいりました大隅と申します。原に引き続き残任期間を務めさせて頂きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3. あ い さ つ(会長)

高梁市地域包括支援センター運営協議会仲田会長よりご挨拶を頂きます。

皆さんこんにちは。本日は令和7年度高梁市地域包括支援センター運営協議会にお集まり頂きまして誠にありがとうございます。テレビでは梅雨が明けると言っていました。今日カンカン照りだと予想していたらありがたい曇りで、上着来て外を歩いて汗をかかずに済みました。いつもと本当に違った気候で早くから高温の日が続いておりますので、熱中症の方もだんだん見受けられるようになってきておりますので、皆さん健康にご留意頂くようお願い申し上げます。

コロナの方も一段落していますが、高梁市では先週あたりから少しずつ増え始めているようにも見え、今週もうちの方で3～4人ほど確定されています。それ以前は1人とか、無し
の状況から変わりつつあります。例年7月～9月と、お盆を中心にしてコロナの患者さんが
増えますので、皆さんも健康に留意していただき、疲れをためないようにして頑張って頂き
たいと思います。

本日の地域包括支援センター運営協議会ですが、この地域包括支援センターの設置目的は
お配り頂いております資料の1ページの一番上に記載してございますように「高齢者が可能
な限り住み慣れた家庭や地域で自立した日常生活を営むことができる。一人一人が誇りをも
って人間らしく生きていく事が出来る社会を目指す」というそういう事の為に協議会が設定
されています。この後事務局の方から色々と説明があると思いますので、皆さんもお聴きに
なって不明な点あるいはアイディアがありましたら是非ご意見の程よろしく願いいたしま
す。

4. 協 議 事 項

(1) 令和7年度 高梁市地域包括支援センター運営方針(説明：赤木代理)

【質問・意見】

- ・(委員)：4ページ目 各事業名が載っているが、マップで図示したり、市民に分かり易く示
す工夫とかしているか。

(事務局) 事業ごとのマップは作成しているものがある。元気なからだづくり隊、認知症カフ
ェのマップはホームページにも公表している。介護保険事業所の所在地マップも作成して
いる。

(2) 本市における高齢者と介護保険の状況 (説明：坂本主幹)

【質問・意見】

- ・(委員) 通所介護、通所リハビリテーションはケアプランにのっとったニーズが提供できて
いるか。需要と供給のバランスがとれているか。

(事務局) 17ページの表にもあるように、近年では通所リハビリの人気があり、待機が出てい
る事業所があるのが現状である。タイミングが合えばすぐ利用できる場合も稀にあるが、
何ヵ月待ちということもある。

訪問介護と訪問看護を見ると給付費が低くなっているのは、事業所の利用できる上限と
いう印象。訪問介護は、希望する回数と曜日には行けていない。通所介護も同様で、空き

がある曜日や送迎の便のある日で利用日が決まることもある。希望日と完全に合う方ばかりではないという印象を持っている。

(委員)：希望する曜日によっては、他の日は空いていても受け入れができない事がある。入浴の希望者が多いが、この日の入浴は上限いっぱいな事もあるので、ニーズと受けられる曜日の若干調整が必要と思うが、調整することでまだ受け入れは出来ることもある。

(委員) 需要が高く、今後事業者が増えてくると費用が上がる可能性も秘めている。介護予防事業をしっかりとバランスを保ちながらタイミングを捉えて早め早めの対応をしていなければいけない。

(委員)：訪問介護に外国の方は入れるようになったのか。

(委員)：入れるようになっているが、訪問介護はご自宅に一人で行く為、利用者さんの気持ちがどうか。以前総社市の事業所が高梁へ参入されていた時には中国人の方が一人高梁市にも来ていた。言葉もよく分かり出来ていなかったとは思わないが、やはり利用者さんの希望が外国の方よりは日本人、男性よりは女性でという希望がある。

(委員) 14 ページ 令和元年度の認定者数の合計 2907 名、令和 7 年度は 2686 名と約 1 割強減っているが、認定率が変わっていない。理由は何か。

(事務局) 高齢者の人口が減っている事が要因と考えられるが、高齢者自身の健康意識も高まっている。介護を要する期間が短くなっているとも考えられる。

(委員) 高齢化率は上がっているが、元気な高齢者が多い。高齢化率が上がっていくのは少子化問題が大きいのか。

(事務局) 13 ページ 0～65 歳の人口が高齢者の減少以上に進んでいる。生産年齢人口の減少が一番の要因と考える。

(3) 令和 6 年度活動報告(説明：江藤参事)

【質問・意見】

(委員)・21 ページ 総合事業ミニデイサービスについて、9 地区から 8 地区になったにも関わらず、ニーズが増える、どこの地域が減ったのか。

(事務局) ミニデイサービスが減った地区は、高梁福祉センターが会場で、月 1 回行っていたミニデイサービスが R7 年 3 月から通所型サービス B という週 1 の通いの場になりました。通所型サービス B が 2 ヶ所から 3 ヶ所に増え、開催回数が増えたということになる。

(4) 令和 7 年度 重点的な取り組み (説明: 倉橋主幹)

【質問・意見】

(委員) 35 ページ 配食サービス。低栄養の高齢者が増えている。冷凍物を提供すると回数も増え、サルコペニアの予防にもなるのではないか。

(事務局) 現状は事業所や仕出し屋さんで作ったものをボランティアさんが届けている。安否確認の目的もあり、今のところは冷凍食品の活用する案は出ていない。高齢者が冷凍品を解凍できる人ばかりではないことも考えながら需要について検討したい。

(委員) 権利擁護事業について 高齢者虐待人口件数、相談件数について、変動の要因について検討しているか。

(事務局) 令和 6 年度は 6 件、令和 5 年度は 0 件、令和 4 年度も通報あり。令和 5 年度に無い事が異常な状況である。ケアマネジャーへの虐待研修や民生委員への普及啓発も毎年行っている。令和 7 年度は 4 月に入り、通報がすでに 5 件ぐらいある状況なので、波がある。

(委員) 波がある要因は？

(事務局) 最近の傾向として経済的虐待が少し増えている。虐待する側も経済的に困窮して親の年金に手を出してしまうケースが増えている。波の原因の分析まではできていない。

(委員) 虐待にも種類があって、パッと聞くと身体的虐待だが、啓発が進むと、これも虐待じゃないかという話になる。どういう経緯を経てどういう虐待か認知されるようになったのか、分析が進み予防に繋がるの。消費者被害についても取り組んでいただくと生活の安定につながる。

(委員) ACP について 普及啓発の反応、成果は？

(事務局) 市民公開講座でのアンケート調査で、「ACP について知っていますか？」の問いに大体 4 割ぐらいの方が知っているという回答あり。回答者が愛育委員・栄養委員が中心なので、普段耳にしやすい方が大勢集まった研修会である為、一般市民の普及啓発というと広くはできてないという現状である。今年度、45 歳・55 歳・65 歳の方に ACP のリーフレットを郵送し、我が事・親の事として考えて頂く機会とした。また、専門職向けの施策をしていきたい。

(委員) 後見で市長申し立ての件数は？

(事務局) 少ない年、多い年があり、波がある。虐待絡みの後見というのも増えている。

(委員) 報酬助成にも波があるのか

(事務局) 年間まとめてされるものなので、死亡や、新規の市長申し立てされる（報酬助成される方）方が多い事が多く、この件数で推移している。

(5) その他

なし

5. 閉 会